

一味違うGoogleFORMとAIの活用

「貧者のシステム」を使いこなして最大限の利得を！

目次

【Google FORM編】

- GoogleFORMはコロナ禍に爆発的に普及した
- GoogleFORMにGAS (GoogleAppScript) でアレンジを
- 表形式で集められるデータは集計系の負担を減らす

【生成AI編】

- 生成AIを使った成果物は、すぐ身近にある
- 条件を詳細に正確に入れば、最高の回答が来る
- AIの回答は必ず裏を取れ！

Google FORM編

コロナ禍に爆発的に広がった

【実例】資源回収の存続可否アンケート

対象 180名の保護者に対するアンケート回収

180名分のアンケート用紙の配布と回収

- 学校が緊急事態宣言で休業
- 保護者に宿題を引き取らせるときに用紙を配布
- 回答を回収するタイミングの予定が決められない(何が起るかわからないため)

回答依頼は紙で行い、回答はFORM(オンライン)で回収

- 回答は150通、紙で回答は30通、残りはオンラインだった
- 匿名で回収したが、同じ回答が複数見つかった。
- 回答の折り返しがないため、何度も送信ボタンを押した？

→ 当時のGoogleFORMにはメール送信機能がなかったため、折り返しメールが出来なかった。



→ GoogleFORMにメール送信機能をGAS (Google App Script)で追加すればよいのでは？



→ 当時のGASは日本語のリファレンスガイドがない
英語版で解析、サンプルコードを収集

→ 現在は日本語版のリファレンスも完成。



→ それよりもGEMINI (Googleの生成AI)に聞くのが一番精度の高い解決法を提示してくれる。



→ 突然の仕様変更もあるが、「貧者のシステム」である以上は受容しなくてはならない。

生成AI編

生成AIを使った成果物は身近にある

【実例】会議室にある55インチのモニタが壊れた

予算計上していない出費なので、20万円以下にしたい

- Amazon Businessで65000円（ジャパンディスプレイ社）の特売あり。
- 前のモニタ同様、脚を付けてほしい。脚も購入すべき。
- 脚を買えば、取付業者も付いてくるのか？

前のモニタの脚が流用できるのかAIで確認した

- 前のモニタの型番と購入したモニタの型番を入れ、脚の取り付け方で流用可否を確認。
- 取付手順書（PDF）が新旧共にあり、業者ではなく自分たちで交換ができることがAIにより即座に判明した。



AIを使った画像生成



→ 線描を指示。スケッチ風イラストへ。

AIを使った文字起こし

最初ですね、あの、経済と行政ってだいぶ体質が違いましてね、その教員会議とか。で、経済はですね、古い、もう100年の伝統ですけども、100年あるから逆にですね、こう、割と足腰があるというか、土性骨というのがあるんですかね。



→ 9割程度の確度で正しい。「土性骨」は補正した。

→ かつての「文字起こし」のソフトは3万円程度から販売されていたが、AIなら無償(4分まで)。



→ 「貧者のシステム」に無償版AIは欠かせない存在



→ 法人の守秘義務にかかわる情報を問う場合は必ず法人契約している有償版AIを使うべし。